

発行所
石川県保険医協会

〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373 番
FAX (076) 231-5156 番
発行人 高松弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間 5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

●主な記事●

- 2面 協会会員900人達成
- 3面 歯科・医科隣接医学懇談会
- 4面 シリーズ介護保険⑤
- 5面 「在宅医療点数の手引」発刊
- 7面 新年号原稿募集

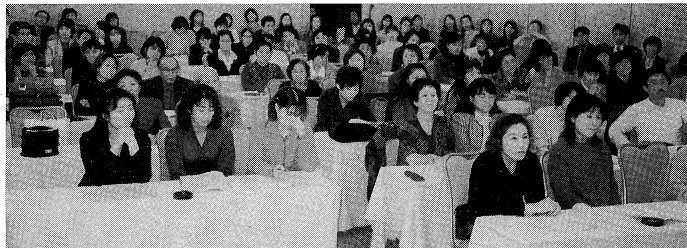
今月の会員数/901人(医科649人・歯科252人)

III 医師とコ・メディカルのための講演会 III

170人の医師・スタッフ・施設職員が PEGによる栄養管理を学ぶ



講師の松原康美氏(右)と、おなじみ小川滋彦理事



定員を超える170人の参加(金沢都ホテル)

協会会員 900人達成

三年間で百人増え、 歯科組織率五割超える

〔関連記事二面〕

十月二十四日、金沢都ホテルで、例年の催しである「医師とコ・メディカルのための講演会」が開かれた。今年のテーマは、「摂食障害者に対する、PEG（経皮的胃瘻造設術）による栄養管理」。

土曜日の夕方からの講演会であり、参加者がどの程度あるか心配されたが、会場定員二百二十人を上回る百七十人が参加し、盛況であった。

参加者は、多くは老人保健施設や特別養護老人ホームで施設内従事のナースらであり、訪問看護ステーション、訪問看護センターなど、幅広い職種の方が参加した。

講演では、PEGの普及に長年取り組んでいて、この分野では全国的にも有名な小川滋彦先生(協会理事)が、PEGについてその原理や、PEGの使用法、人工肛門の管理を専門に活躍している松原康美先生(経皮的胃瘻造設術)が、PEG術後の胃瘻の管理や、在宅ケアのなかで今

後普及することを予感させる講演であった。

講演後の質疑応答でも、すでに実施している病院や施設のナースから活発な発言があった。

持論

ケアマネジャー狂
騒曲と揶揄されたケアマネジャー実務研修受講試験(以下ケアマネ試験)が終わった。

介護保険の基本は要介護状態の高齢者の自立を目指し、側面から支えることにある。そのため、ケアマネジャーはその高齢者と各種の社会資源を適切に連携し、調整し繋ぐ役割を担う。テキストにはその高適な理想に基づいて、ケアマネジャーに求められる多種多様な資質と責任が記されている。個性の強い医師、看護婦など各サービス供給者を調整する能力。利用者中心の姿勢を貫き、ケアプランの作成、施行、経過のあらゆる段階で自らの感情をコントロール

ては身を挺して、それを守る勇気。人間としての繋がりを失いつつある現代にあって、これだけの資質を持った人間がどれだけ存在するのか。そしてその適材を法律用語のペーパー試験で

要介護者となる危険性を抱えているのである。従って、介護保険の対象とするフィロドに、この国のすべての高齢者が対象とならなければならない。しかし、この保険の対象は厚生

省の認定基準による要介護者であり、要支援者のみである。多くの弱き高齢者たちは保険から締め出されるのだ。そしてその介護保険を補う制度も意識も今の社会に存在しない。この社会には介護保険を受け入れる土壌が決定的に欠けているのである。

講演後の質疑応答でも、すでに実施している病院や施設のナースから活発な発言があった。

制度より社会変革が先

「介護保険の理想は高齢者が抛つて立つ、社会全体のメカニズムそのものを土建国家から福祉国家へ、官僚の視点から高齢者の視点へ真の意味で転換し、そのための意識変革を積み重ねない限り、決して達成されないものである。介護保険に埋もれる多くの声無き声を今、拾い上げるのがわれわれの責務である。」

介護保険の理想は高齢者が抛つて立つ、社会全体のメカニズムそのものを土建国家から福祉国家へ、官僚の視点から高齢者の視点へ真の意味で転換し、そのための意識変革を積み重ねない限り、決して達成されないものである。介護保険に埋もれる多くの声無き声を今、拾い上げるのがわれわれの責務である。」

現在、一部の病院では、なお摂食障害の患者さんを長期に鼻腔栄養で管理していると言われるが、改善を迫られていると言える。

現在、一部の病院では、なお摂食障害の患者さんを長期に鼻腔栄養で管理していると言われるが、改善を迫られていると言える。

現在、一部の病院では、なお摂食障害の患者さんを長期に鼻腔栄養で管理していると言われるが、改善を迫られていると言える。

現在、一部の病院では、なお摂食障害の患者さんを長期に鼻腔栄養で管理していると言われるが、改善を迫られていると言える。

医心凡語

わが国での結核罹患率が数十年前に増加している。これには高齢者の低年齢化、若年者の自然陽転者が数パーセントという背景がある。

一方、アメリカでも一九八〇年代に入り結核の罹患率が上昇したが、その原因はHIV感染であった。HIV感染では、病初期はニューモシステスカリ菌肺炎が最も問題になったが、現在は多剤耐性の結核菌が、非定型抗酸菌症が臨床上の問題となつていく。そのアメリカでは、一九九六年からHIV患者数とエイズ死亡が減少している。

他方、わが国のHIV感染の動向をみると、異性間感染が増加するに及び、急速な増加が懸念されている。人権上問題があるとき止された「エイズ予防法」は廃止され、あらたに「感染症予防法」が成立されたが、「エイズ予防法」の教訓は生かされていない。

エイズ患者の人権が守られ、安心して治療できる環境が作られない限り、エイズの増加を防ぐことはできない。さらに、その結果わが国では、より深刻な形で多剤耐性結核といった問題が引き起こされること予想される。薬害エイズ裁判で厚生省が証拠を隠し続けていた事実が明るみに出たが、この裁判、日本の将来にとって重要な課題を含んでおり、注目される。

保団連新聞部会

富山で地元新聞社との交流も

保団連新聞部員 大平 政樹 (金沢市・外科)

台風がやってくるさなか、お隣の富山県で今年二回目の保団連新聞部会が開かれた。「絶対汽車で行ってね」という愛妻の言葉を背に、台風情報にびくびくしながら、それでも車で出かけた。

会場の名鉄トヤマホテルはなかなか瀟洒で、午後七時から地元、北日本新聞社の専務さんとの懇談の場が設けられていた。正直なところ、あまり期待していなかったのだが、なかなかどうして……。

この新聞社は「よみがえれ 地方自治」という本を自社出版し、数々の賞を取った経歴があり、専務さんの語る言葉の端々にこの社が持つ強い哲学を感じる事ができた。彼自身が脳梗塞という病に倒れたこと



石川協会から大平理事(右)と杉野事務局員(右から2番目)が出席

もあり、現在の医療、福祉に対する思い入れがひしひしと伝わってきた。「総合病院と言うところは患者を

総合的に診てくれるところではないのですか」というごく当たり前の疑問に返す言葉がなかった。この懇談会の話の聞くためだけに

石川県保険医協会は、十一月五日に会員数九百人(医科六百四十九人、歯科二百五十一人)を達成しました。八百人会員となったのは一九九五年十月で、この三年間で百人の実質増加となりました。

保険医協会は自主的な団体であり、入退会はもちろん自由です。新規開業医をはじめ、次世代を担う若い医師、歯科医師が「保険医の経営と権益を守り、医療保障制度の改善、拡充をはかる」ことを目的にする保険医協会に続々と入会し、協力して下さるのは、これまでの協会の諸活動が評価されたためであると思えます。今や九百人会員とな

900人会員 達成!

夢でなくなった1,000人会員

り、県下の医科開業医の七二・四%、歯科開業医の五六・三%を擁する大きな組織に発展した保険医協会への期待の大きさを痛感しています。

私たちは、患者負担増をもとに戻す運動をはじめ、次期通常国会に提出される医療「抜本改革」法案への対応、介護保険制度の改善のため国と自治体への働きかけなど、患者・国民と医療関係者との共通の願い実現のため、いっそう奮闘する決意です。

次の会員達成目標は千人です。二十一世紀の早い時期までには達成したいと考えています。会員各位のご協力をお願いいたします。

各協会機関紙部の報告では、部員一体となって紙面づくりに取り組んでいる石川協会が高く評価され、これも一重に新聞づくりに情熱を燃やし続けてこられた歴代機関紙部長・部員、そして事務局のお陰と、ここに改めて深く感謝する次第である。

1999年は国際高齢者年 International Year of Older Persons 1999

シンポジウム 住みなれた地域で安心して老いるために

金沢の福祉と国際高齢者年



towards a society for all ages
International Year of Older Persons 1999

来年1999年は「国際高齢者年」です。いま世界的な人口の高齢化が進んでいます。とくに日本は長寿国のトップです。

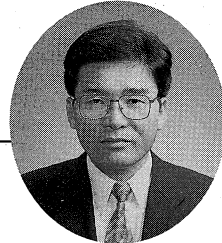
高齢者の、独立、参加、ケア、自己実現、尊厳の5原則(高齢者のための国連原則、1991年国連総会で採択)にもとづいて、政策と活動を展開することを目的とした「国際高齢者年」を迎えるに当たって、それを実りのあるものとするための集いを計画しました。

人生の円熟した「光齢期」をすごすために、私たち金沢市民の若い世代から高齢者まで、みんなで考え、発言し、行動しましょう。

【とき】 **11/28** 土
午後1時半～午後4時半

【ところ】 **金沢市松ヶ枝福祉館**
〈4階集会室〉 金沢市高岡町7-25
TEL 231-3110

【参加費/資料代】 **500円**



記念講演講師 ● 下河内 司氏

主催者挨拶 梶井 幸代氏 (老後問題を考える石川のつどい代表)

記念講演 ● 演題 **住みなれた地域で安心して老いるために**
— 金沢の福祉と国際高齢者年 —

● 講師 下河内 司氏 (金沢市助役)

シンポジウム ● 報告者 石野 和子氏 (石川県各種女性団体連絡協議会会長)
小坂 直信氏 (金沢市介護保険事業計画等策定委員)
青木 範子氏 (石川県厚生部長長寿社会課課長補佐)
下河内 司氏 (金沢市助役)

● 司会者 井上 英夫氏 (金沢大学法学部教授)



■主催/老後問題を考える石川のつどい ●代表 梶井 幸代氏 (北陸婦人問題研究所所長)
●連絡先 石川県保険医協会 TEL 076-222-5373

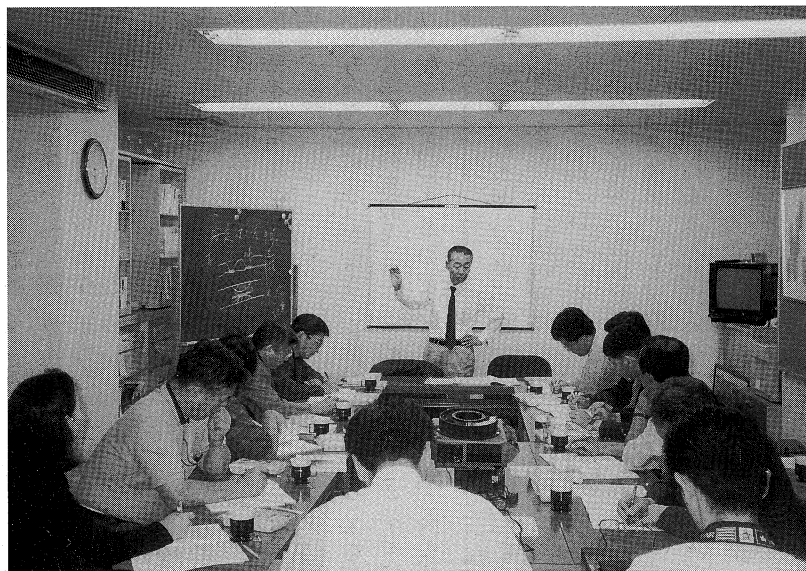
■後援/金沢市、金沢市社会福祉協議会、金沢市医師会

会員投稿

瑞典

成層圏に乱気流あり夏の旅
真夏日と言へど瑞典汗湧かず
衛兵の青帽青服朝涼し
白夜なり瑞典王宮塔黒し
海水湖波音あらず白夜なり

高島 筍雄 (金沢市・内科)



第1回目は大森肇先生(写真)、高松弘明会長、喜多徹理事が講師を務めた



協会会議室が超満員

第一回目の歯科医科隣接
医学懇談会は、十月十六日
の開催当日になつても参加
者が増え続け、当初の歯科
部の予想を超えた参加人数
が、大森肇先生には、
まず、高松弘明会長、喜多徹理事が講師を務めた

歯科・医科
隣接医学懇談会
4回シリーズ

歯科医のための隣接医学 協会らしいセミナーに 予想を上回る参加者

平田 米里 (野々市町・歯科)

で、協会会議室にギュー
セ・不整脈・ペースメ
カーを植え込んだ患者、心
臓手術の患者、加えて救急
時の処置と対応の章をも含
めて話していただきました。
これだけの内容を六十
分までとめて講義されるの
は至難のことと推察されま
したが、非常に格調高く無
駄のないお話し振りで進め
られました。参加者一同、
「さすが」との感を強く抱
き、やはり参加してよかつ
たこの思いを持ちました。

次に、高松弘明先生は糖
尿病について、スライドや
プリントを使ったりイン
シュリンやその注射器を提
示されたりと、非常に分か
りやすく講義されました。
また、グルコバイの使用
者は低血糖時の対処としてブ
ドウ糖を飲ませるのがよい
というお話から、余録と
して、後日、ブドウ糖を参
加者全員が無料でいただ
けることにまで相成りま
した。

喜多徹先生はいつものこ
とながらキチンと腎臓の病
気としてA四版一ページの
レジユメを配布されて、短
い時間に分かりやすくおさ
まるように準備してられ
ました。

三人の講師の先生方の熱
意と誠意に心より感謝いた
します。また、参加された
方々には、場所の設定、時
間の割り振りなどで不備の
あったことをお詫びいたし
ます。とにかく、このよう
な望んでもできない空前絶
後ともいえるセミナーを体
験できることは、非常に喜
びであると付け加えておき
ます。またまた保険医協会
の底力を感じさせられまし
た。第二回以降もお楽しみ
に。

1が好手でコウになります。

囲碁解答

(問題は8面にあります)

歯科部会

学術講演会のご案内

日時・場所	イベント
2月13日(土) 午後6時~8時半 金沢都ホテル (定員30人)	<p>〈医科歯科隣接医学懇談会〉③(4回シリーズ) 医科患者さんへの歯科治療 — 医科から歯科へ —</p> <p>講師：井沢 宏夫氏 テーマ：呼吸器の病気 (1) かぜ症候群 (2) 気管支喘息 (3) 慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫) (4) 低肺機能(呼吸不全)</p> <p>講師：中野 一郎氏 テーマ：消化器の病気 (1) 胃・十二指腸潰瘍 (2) 炎症性腸疾患</p> <p>講師：小川 滋彦氏 テーマ：消化器の病気 (3) 慢性肝炎 (4) 肝硬変症</p>
3月13日(土) 午後6時~8時半 金沢都ホテル (定員30人)	<p>〈医科歯科隣接医学懇談会〉④(4回シリーズ) 医科患者さんへの歯科治療 — 医科から歯科へ —</p> <p>講師：近藤 邦夫氏 テーマ：血液の病気 (1) 貧血を主徴とする疾患 (2) 貧血と出血傾向が同時に認められる疾患 (3) 出血傾向を主徴とする疾患</p> <p>講師：大石 博司氏 テーマ：婦人の病気 (1) 妊娠(妊婦に対する留意) (2) 更年期障害 (3) その他の婦人科疾患</p> <p>講師：江守 巧氏 テーマ：脳神経・精神科の病気 (1) 脳血管障害 (2) てんかん (3) うつ病</p>
4月4日(日) 午前9時~午後3時 金沢都ホテル	<p>〈学術講演会〉 クリニカル・カリオロジーについて 講師：熊谷 崇氏 (山形県酒田市開業)</p>

◎上記は講師の都合で予告なく変更になる場合があります。

矯正歯科講演会

テーマ 痛くない、歯周組織に優しい矯正治療

- とき 11月29日(日) 午後2時~午後6時
- ところ 金沢都ホテル 7階 飛翔の間
JR金沢駅正面・電話(076)261-2111
- 講師 茂木 正邦氏 千葉県市川市開業
日本矯正歯科学会指導医認定医
- 参加対象 歯科医師
- 参加費 会員=1,000円
非会員=10,000円

各講演会への 参加申し込み方法

下記のいずれかの方法で

- ① すでにお送りしてあります「参加申込書」でFAXにて。
- ② 医療機関名、参加希望講演会名、参加人数をご記入の上、FAXまたはE-mailにて。
- ③ お電話による申し込み。

石川県保険医協会

〒920-0902 石川県金沢市尾張町1-9-11 尾張町レジデンス2階
電話(076)222-5373 FAX(076)231-5156
E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

シリーズ 介護保険 ⑤

医療福祉複合体と開業医

石川県保険医協会理事 喜多 徹 (野々市町・内科)

九〇年代から全国各地の病院・診療所の一部開設者が、老人保健施設や社会福祉法人をまず創設し、さらに特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、訪問看護ステーションなどを併設する、いわば医療福祉の複合体を目指す動きが目立ってきた。

もちろんこのような動きは、介護保険の新設をにらんだ動きともいえるのだから、包括的、総合的なサー...

が、これが利用者(要介護者)と開業医との関係で、これが期待できる。もちろん、この複合体にとっても、経営資源の効率化という点で都合がよい。しかし、介護保険が「利用者本位」として提供することにより、包括的、総合的なサー...

一般開業医との関係では、患者(利用者)のこの複合体による困り込みが一層進み、一旦、このような複合体に関わった患者は、開業医の元に戻ってこないようになる。介護保険による医療との関わりでは、居宅療養管理指導その他となつていくが、おもしろいところは、すべてこの複合体に持つて行かれる可能性もある。最も問題なのは、この複合体が地方政治家や行政と結びついて、保険者である市町村が介護サービス業務をこのような複合体に、いわば「丸投げ」を行い、介護サービスの独占化・寡占...



医療薬 日本医薬品集 一九九八年十月版
■(財)日本医薬情報センター 編集
■(株)薬業時報社 発行
■書籍のみ
→B5判、2,500頁、定価23,100円(税込) 送料914円
書籍とCD-ROM 2点セット函入り
→定価44,100円(税込)、送料1,050円
■お申し込みは書店へ。または、定価と送料を直接発行元の(株)薬業時報社(電話 東京.03-3265-7751、大阪.06-231-7061)へお振り込み下さい。
【振替00130-7-48330】

家計負担大きい医療費 介護保険は平成の「うば捨て山」

山森 富雄 (金沢市・71歳)

現在、わが国は金融不安の解消と景気の回復が世界から注目されている。そもそも現在の不況の原因は、昨年の消費税アップと医療費の値上げによる九兆円の国民負担が大きな原因と言われている。

高齢者の医療費負担は、家計に大きな影響を与えている。ところが十月一日から高齢者は六カ月以上入院できないことになった。その原因は一般病棟における一日七千六百十円〜三千九十円の病院への診療報酬費が二千五百円に改定されたことによる。病院はこの改定によって高齢者を六カ月以上入院させると経営が成り立たなくなることに起因している。六カ月を超える老人長期入院患者の病棟を

住民投稿

新設し一日六千三百十円の診療報酬を交付して一般病棟と二分化された。私たちが、この二分化の措置により一番危惧されることは、重度の患者が六カ月を理由に強制的に退院を強いられるのではないかとということである。また、退院を強制された患者がスムーズに老人長期入院患者の病棟へ転院できるのだろうか。さらに、老人長期入院患者用の病棟には専門医が多数配置されているのだろうかという点である。

公的介護保険制度も間もなく実施されるが、そのための医療施設は充実されていない現状からみて、医療と介護の重症者が平成の「うば捨て山」にならないよう願って止まない。

寝たきり老人在宅総合診療料と在宅療養指導管理との同月算定をめぐる動き

厚生省老人保健課は、十月二十日付で、寝たきり老人在宅総合診療料と在宅療養指導管理指導料の同月算定を認めないとした今年九月一日「老健第一一九号通知」について、「追って連絡するまでの間は従前の例によることができる取扱いとす

るので、よろしくお取り計らい願いたい」という事務連絡を広島県高齢者福祉課に通知しました。九月一日付「老健第一一九号通知」とは、広島県高齢者福祉課長から照会のあった寝たきり老人在宅総合診療料の算定について、

厚生省老人保健課が広島県に回答したものです。通知内容は「寝たきり老人在宅総合診療料を算定している患者に対して、在宅酸素療法指導管理等の在宅療養指導管理及び老人処置指導管理を行った場合、在宅療養指導管理の費用は別に算定

できない。この場合にあつて、在宅療養指導管理料の各区分の「注」に規定する加算は算定できる」となっていました。これが実際に全国で適用されると、寝たきり老人在宅総合診療料を届け出ている医療機関(現在全国で一

た保団連・保険医協会では、十月一日に厚生省老人保健課に対して、この通知の撤回を申し入れるとともに、日本医師会をはじめ各

介護保険について
ご意見・疑問点などをお寄せください
保険医協会では、介護保険のかかえる問題点を明らかにし、国・関係機関への要請を続けます。会員の先生方・スタッフの方々のご意見・ご協力をお願いします。

経管栄養患者受け入れに関するアンケート調査結果

1998年10月 石川県保険医協会・調査

老人保健施設(30施設)

施設名	鼻腔栄養		PEG		鼻腔栄養+PEG患者の合計人数
	受け入れ状況	人数	受け入れ状況	人数	
アイリス	○	1人	○	0人	1人
あっふる	○	1人	○	0人	1人
あゆみの里	○	0人	○	1人	1人
あんじん金沢	○	0人	○	0人	
内灘温泉保養館	×		×		
有縁の荘	○	0人	○	0人	
加賀のぞみ園	○	3人	○	0人	3人
加賀中央メディアケアホーム	×		×		
鶴友苑	○	2人	○	0人	2人
春日町ケアセンター	○	2~3人	○	1人	3~4人
金沢南ケアセンター	×		×		
グリーンポート小松	○	1人	○	0人	1人
県立老健ホームいしかわ	×		○	2人	2人
シルバーユートピア丘の上	○	7人	○	1人	8人
寿老園	○	0人	○	1人	1人
千木町ケアセンター	○	0人	○	1人	1人
太陽の里	○	0人	○	4人	4人
田中町温泉ケアセンター	○	1人	○	3人	4人
千代野苑	○	0人	○	5人	5人
手取の里	○	0人	○	2人	2人
なでしこの丘	○	0人	○	1人	1人
白鳥苑	○	0人	○	0人	
はまなすの丘	○	1人	○	4人	5人
ピカソ	○	2人	○	0人	2人
福久ケアセンター	○	0人	○	1人	1人
まだら園	○	1人	○	0人	1人
百寿苑	○	0人	○	0人	
山中温泉しらさぎ苑	○	0人	○	0人	
陽翠の里	○	0人	○	0人	
和光苑	○	2人	○	1人	3人

特別養護老人ホーム(35施設)

施設名	鼻腔栄養		PEG		鼻腔栄養+PEG患者の合計人数
	受け入れ状況	人数	受け入れ状況	人数	
あかかみ	○	0人	○	0人	
あかしあ荘	○	3人	○	1人	4人
あての木園	○	1人	×		1人
石川県八田ホーム	○	3~4人	×		3~4人
石川県鳳寿荘	○	1人	○	1人	2人
ことぶき園	○	0人	○	0人	
加賀中央慈妙院	○	2人	×		2人
金沢愛の園	○	1人	○	1人	2人
金沢朱鷺の苑	×		×		
第二金沢朱鷺の苑	×		×		
中央金沢朱鷺の苑	×		○	0人	
サンライフたきの里	○	2人	×		2人
寿晃園	○	1人	○	10人	11人
秀楽苑	○	11人	○	1人	12人
自生園	○	3人	○	10人	13人
慈妙院	○	0人	○	0人	
松寿園	○	1人	○	2人	3人
第二松寿園	○	0人	○	0人	
千木園	○	2人	○	2人	4人
大門園	○	0人	○	3人	3人
ちどり園	○	1人	○	3人	4人
長寿園	○	14人	○	1人	15人
第二長寿園	○	1人	○	1人	2人
湯寿園	○	5人	○	4人	9人
七尾城山園	○	3人	○	3人	6人
能登穴水聖蹟園	○	1人	○	1人	2人
はまなす園	○	3人	○	1人	4人
眉丈園	○	1人	○	2人	3人
福寿園	○	0人	○	2人	2人
松美苑	○	0人	○	2人	2人
万陽苑	○	0人	○	1人	1人
第二万陽苑	×		×		
第三万陽苑	×		×		
やすらぎホーム	○	1人	○	3人	4人
鹿寿苑	○	5人	○	8人	13人

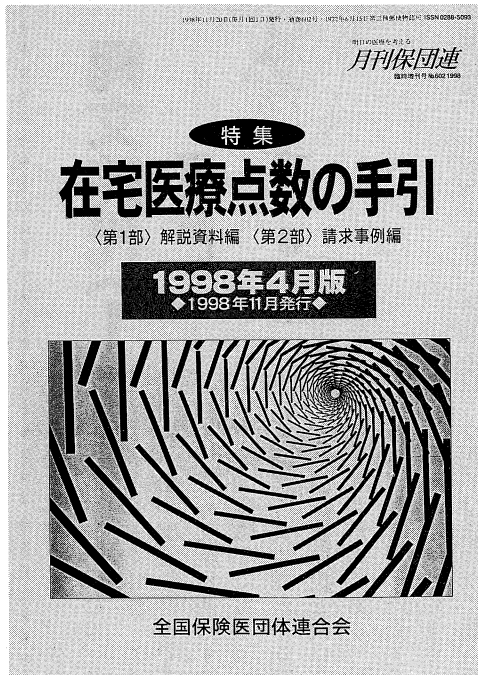
保団連発行
最新版
1998年11月発行

在宅医療点数の手引

〈第1部〉解説資料編 / 〈第2部〉請求事例編

ご希望の会員の先生に、一冊無料でお送りします

2冊目以降は一冊3,000円



在宅医療を充実させ、これが十分に機能するためには、いざという時の入院医療の拡充および家庭における看護・介護の要員と在宅医療環境の整備・確保が前提になることは言うまでもありません。また、医療機関におきましては、複雑な在宅医療における保険請求が妥当かつ円滑に行えることも重要な課題になります。しかし、比較的高く評価されている在宅医療の点数には多くの問題があります。その第一は点数項目が多岐。第二は算定要件などの留意点で制約が多いこと。第三点は、点数項目相互の算定可否が分かりにくいこと。第四はレセプトや診療録の記載義務が多いことなど、保険医の疑問・不満は枚挙に暇がありません。適切に必要な在宅医療を行いながら、上記の理由で在宅医療の点数を十分活用・算定できず、みすみす請求漏れに甘んじてきた保険医療機関も少なくないと推定されます。

このような状況を改善するために保団連では1995年『在宅医療点数の手引』を発刊し、保険医のみならず、関係団体からも高い評価を得てきました。今版は前回出版の本書を基本に1998年4月点数改定にそって訂正、加筆するとともに、病院が算定するレセプト例示も追加・補充しました。保険請求に遺漏がないようにという配慮から、解説が詳細になりページ数も増えました。そのため手引書自体も複雑すぎると、お叱りを受けるかもしれません。しかし、必要ととき、必要な部分を参考にさせていただくことで、十分役立つと信じています。在宅医療の充実のために、本書のご活用をおすすめします。

お申し込みは協会まで(先着順)

TEL 076-222-5373/FAX 076-231-5156

E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

B5版・185頁 定価 3,000円

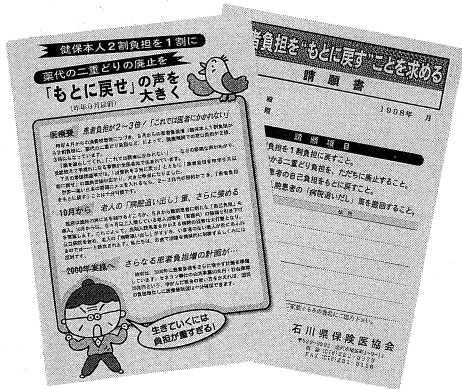
「患者負担をもとに戻す」

請願署名に一層のご協力を!

11月10日現在

13,600筆

◎各会員・関係機関には50枚ずつお送りしてありますが、追加いただける方にはご連絡いただき次第、すぐにお送ります。



家計消費支出

家計のうち消費に支出された額。総務庁が十月六日発表した八月分の家計調査によると、全世帯の消費支出は、一世帯あたり三十二万三千三百十九円でした。

これは前年同月に比べ名目で二・九%、物価上昇を差し引いた実質では二・四%それぞれ減少。実質減少は昨年十一月以降十カ月続くこととなります。

派遣労働

雇用契約は人材派遣会社と結び、働くのは派遣先企業という形態の労働。

派遣先で急に契約を解除(解雇)された、約束と違う仕事を発している。専門的な二十六の業務に限られていますが、ホワイトカラー全体に導入できるようにする労働者派遣法改悪案が国会に出されており、成立すると正社員の派遣への置き換えが進むこと。

沖縄県知事選

十月二十九日告示され、十一月十五日が投票日。三選をめざす大田昌秀知事(七十三歳)と、地元の経済界や自民党が推す稲嶺恵一氏(六十四歳)の事実上の一騎討ちで、普天間基地の代替え問題で

はとくに海上基地建設には反対ですが、稲嶺氏は「県内の陸上に基地を建設、軍民共用」を主張し、大田知事はあくまでハワイなどへの沖縄県外への移設を主張しています。

消費税滞納残高

企業が、消費者が払った消費税を一定期限内に税務署に納めない金額の累計。国税庁によると、一九九七年度末で、前年度より三二・一%も増えて五千六百二億円に達しました。赤字でも、また消費税

を価格に転嫁できなくても納税義務があり、景気に左右されにくい税といわれてきましたが、実際には深刻化する不況で納税できない企業が増えていることを示唆しています。

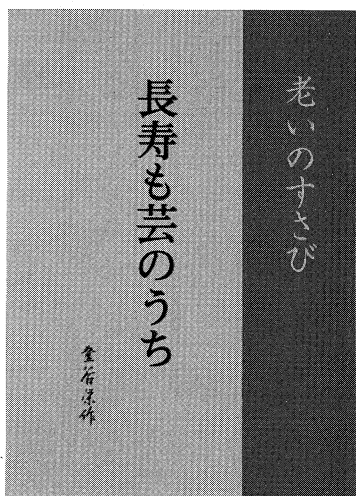
新刊案内

老いのすさび 長寿も芸のうち

登谷 栄作

紹介者 神田 順一 (事務局長)

保険医協会顧問の登谷栄作氏が、このほど田舎医者を自負して半世紀、地域医療に挺身し数多くの人々との出会い触れ合いに感謝し、医は死を看取れるかと「末期医療」の関わり、「篤志献体」金沢大学しらゆり会の運営、さらに「非核平和運動」核戦争を防止する石川医師の会の活動等の生きた証になればと、書き留めたものを自費出版されました。



B6判・109頁

人体の細胞数は限られている、それを無駄なく使い切ることが快老であり長寿であるとすれば「長寿も芸のうち」と言わねばならない、と喜寿を迎えた折に老いの遊び心で編集したため「老いのすさび」と表題にしたそうです。また、同氏は「老医も一言」と北国新聞「地鳴り」欄にしばしば投稿されており、最近二年間に掲載された記事も多数収載されています。体裁B6判百九頁。○本書を希望される方がありましたら、保険医協会事務局までご連絡ください。著者のご好意で無料進呈致します。

会員特別寄稿

命の旅③

縄文時代(1)

真脇にて

希望 (ペンネーム)



真脇は能登の北端に近く、内浦側に位置する。新しく山肌で作られた公園からは穏やかな海が一望できる。春の風は優しく、緑は大古と変わらぬ息づかいで詩を奏で、ところどころに残った雑木林が縄文の時代を彷彿とさせる。しかし、なぜ真脇なのか。

縄文時代は今から一万三千年前から二千数百年前までの実に一万年を超える長い間続いた。その後、弥生時代はわずかに六百年から七百年である。更に日本史を彩る大和王朝からロケットが飛ぶ現代まで千五百年。縄文は気の遠くなるような時の流れを刻んだのである。原始日本人はこの縄文に始まる。小学校のころ、「弥生時代は縄文時代よりあらゆる意味で進歩している」と習った。その根底には文明は時の流れと共に一方向的に進化するという大前提がある。だが、それでは世界史の多くの謎は説明できない。「ナスカの地上絵」忽然と現れ消えた「モヘ

ンジョダロ」、そして日本で見られた「三内丸山遺跡」、すべてが説明不能なのである。三内丸山・まさに奇跡である。その奇跡は次回に語りたい。

弥生が縄文に確実に勝っていたのは武力においてである。心優しき縄文の日本人は弥生人に追われ、一説には北と南に逃れ、アイヌと琉球の先祖となったという。アイヌと琉球人にはその神、言葉、習慣に多くの共通性があると言いが、ここでは触れない。

真脇遺跡は青森の三内丸山遺跡と並んで、わが国屈指の縄文遺跡である。現代から見ると、「どうしてこんな田舎に」と誰もが考えてしまう。それがすでに常識の異なるのである。現代の常識は決して縄文時代の常識ではない。

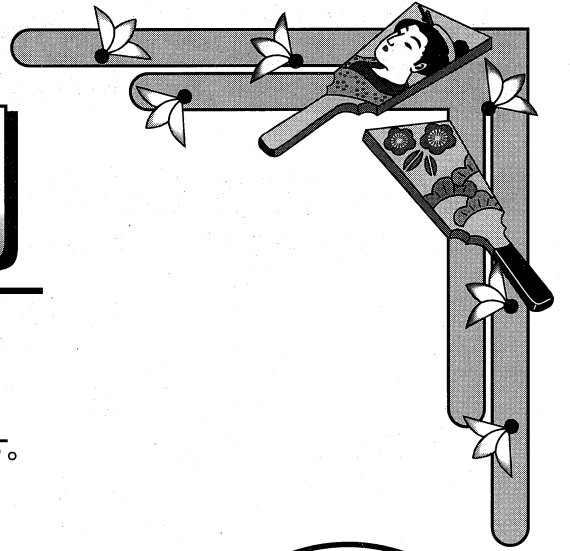
当時青森の十三湊は、わが国の代表的な易港であった。そして、彼らの営み、信仰を考えてみた

もない事実である。少なくとも平安時代には、ここから現在の中国、ロシアへ船が出発したのである。京の文化に匹敵する東北文化圏とも呼ぶべき高度の文化圏が平安時代、奥州藤原氏と共に存在していたのである。しかし、私が習った歴史の教科書には、そのような文化圏はまったく語られてはいなかったし、なぜか「平泉」の記述だけが浮島のように際立っていたのである。

縄文時代、東北から大陸に至る「縄文海進」と呼ばれる日本海交易ルートに沿って、多くの集落が存在した。石川の真脇、チカモリ、富山の桜町、いずれもがこの線上にあった。日本の古代史(縄文時代)の中心は大和でも北九州でもなく、東北を中心とする東日本の各地に分散し、そこに素晴らしき縄文文化が花開いたのである。今、真脇に暮らし、そこでイカを捕り、木の実を拾い、何千年の時を過ごした縄文人を追ってみよう。そして、彼らの営み、信仰を考えてみた



1999年『石川保険医新聞』新年号 原稿募集のご案内



1998年も、残すところあとわずかになりました。保険医協会では、新しい年を迎えるに当たり、『石川保険医新聞』1999年新年号の編集を始めました。
取材記事を充実させ、特別企画にも力を入れます。
そしてなにより大切にしたいのが、たくさんの会員の先生・ご家族の方々にご登場いただくことです。
テーマは自由です。ぜひ、先生・ご家族の方々の原稿をお寄せください。



★旅行記など



★お店紹介や食べ物について



★干支について



★環境や教育問題について



★趣味や健康法について

- テーマは自由です。
- 字数は600字程度～最長800字
- 原稿締切は12月5日正午必着

お問い合わせは
保険医協会事務局の
杉野までお願いいたします。

原稿の送り方

- 手書き原稿の場合…… 原稿用紙などいっさい規定がありません。FAXや郵送でお送りください。
- ワープロ原稿……… できましたら、E-mailにてお送りください。編集作業が大幅に省力化できます。

石川県保険医協会 『石川保険医新聞』編集部

〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156
E-mail : iskw_sugino@doc-net.or.jp
NIFTY-ServeID : XLH01047

掲載させていただきました場合は、薄謝をお送りいたします。

韓国事情見て歩き 第6話 翰林医科大学付属江南聖心病院 と永登浦(ヨドウンポ)



有川功ドクターの

韓国訪問記

(24回シリーズ)

招聘(しょうへい)して下さる研究会の事務局長が、江南聖心病院の李在甲先生であるため、ここ一年以上、金浦空港に到着するとすぐ永登浦(ヨドウンポ)区がこの病院に直行することが通例となっている。この病院や永登浦駅付近の食堂やカラオケに行くことも多くなった。

江南聖心病院は翰林(ハンリム)医科大学の付属病院である。翰林医科

一九九〇年、親友の整形外科医師、印基栄先生の案内で、セルビアの麻酔科眼科医、スザナ・マニチ先生と一緒に永登浦区楊平洞に白(ハイフ)整形外科医院を訪問したことがある。かつて、この一帯は中小企業の工業地帯で、汗を出して働く人々の職場であると同時に居住の場であった。韓国の下町の雰囲気と純粋な培養したような場所であったが、最近、永登浦駅付近は急速に開けてきて、新しい繁華街が形成されつつある。特にヨドウンポ駅の上階にはロッテアパートが、その斜め向かいにシンセグ・ベックワジヨム(新世界百貨店)がある。その周辺には土地の人たちだけが出入りする、ひなびた

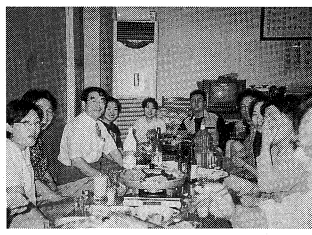
大学の本校は江原(カンウォン)道の春川(チュンチョン)市に存在するが、付属病院は江原道の春川に一カ所、ソウル市の永登浦区に二カ所、江東区に一カ所、東大門(トンテムン)区の清涼里(チヨンニヤンリ)に一カ所、計五カ所に存在する。

永登浦はグレートソウルを南北に分ける漢江の南側にあり、江南聖心病院は汝矣島より南側の昔からの永登浦地区の東端にある。この一帯は観光スポットが全然なくて、今でも一般観光客のまったく寄りつかない場所である。

八年前はまだハンブルは読めないし聞けないしで、印基栄先生に連れられて恐る恐る踏み込んだ永登浦であった。古い韓国映画のロケーション現場に紛れ込んだよう、背が低くて均衡のとれていない建物の連続した街であった。屋でもたくさんの人で溢れ、独特の喧騒と猥雑と不均衡と無秩序が入り混じって、ざっぱな雰囲気にもまれていた。

韓国で個人医院を訪問したのは初めてでもあったし、その医院の内外の雰囲気も異様さにも目を見張った。韓国そのものというセットの中での白慶吉先生の穏やかな人柄と穏やかな医療内容の説明と現状分析、そして流暢な英語に驚いた。その後、ハイフ先生より昭和天皇崩御の際の葬送の一連の行事に対してかなり鋭い批判の手紙が送られて来たという、韓国人の歴史認識と現状認識の一端をかいま見た感があった。

永登浦区はまさにディー・ソウルである。



セミナー終了後、焼肉でコンパ

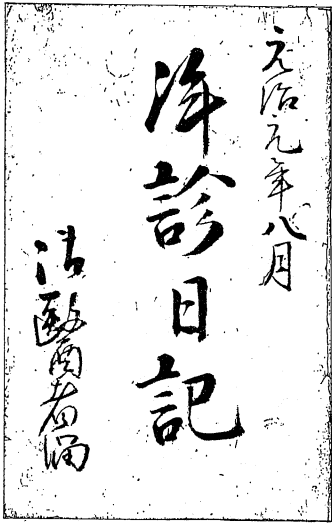
石川県医事文化史跡めぐり

<42>

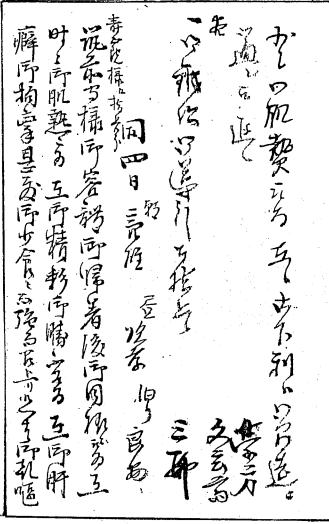
最後の加賀藩主前田慶寧診療記録

『拝診日記』(石川県立図書館蔵)

多留淳文(日本医学史学会評議員) 金沢市・内科



前田慶寧の診療記録(表紙)



9月4日の診療記録(一部)

『拝診日記』には、担当した医師は藩医を主とする三十四人で、その医師の署名が記されている。その内、家老のお手医師二人、幕府医師二人、不明一人がいる。文中、当初から肺結核で

久初年(二八六一)の侍帳で正式の藩医六十人の半数が参加したことにも、肝うっ血、胆汁逆流などで、茵陳湯が処方されていた。黒川良安ら蘭方医も参加しているが、ヨード点眼水ぐらいで、蘭方あまり使われていない。ただ御鍼立、久保三柳らによる鍼や按摩導引が頻りに施行されているのが目立つ。

金沢大学医学部記念館(十四代)前田慶寧診療記録『拝診日記』である。写本。和(たて十)五、よこ十五(五)六十五。加賀藩最後の藩主丁。元治元年(一八六四)八月十八日から病状にあって、同年十二月二日までの一カ月半のカルテであるが、動乱の時代背景を考えると、幕府や朝廷に差し出すための報告書を兼ねたものと思われる。当時、患者前田慶寧(二八三〇—一八七四)は未だ藩主になっていないが、尊皇か佐幕か二者択一に迫られた苦悩の中、病氣療養のため、京都御所守護の任務を退き、金沢に帰着したのが、元治元年八月十八日である。

「最低だね。あの趣味の悪いメガネが気に入らねえ。えらそうに、世界で自分が一番正しいというツラをして、部下に説教する。そんなヤツこそ、陰で社内の女の子に手を出したりする」
Aは酔っていた。酔って日ごろの欲求不満を解消しようとしただけであった。
一週間後、Aは札幌支店へ飛ばされ、会社的主流からは離れた。
半年ほど経ってAが人づてに知ったのは、その夜のバーのママは部長の彼女であったことであった。(Bの野郎、はめやがって...)
Aはくやしさがしたが、どうすることもできなかった。あの時、あそこへ誘ったのはBだが、Bは何もしていない。ただ、A自身が、言わずものがなの新部長への悪口を言っただけなのであった。

サイコロジカル・ショート・ショート

ゼロサム・ゲーム

大石ひろし

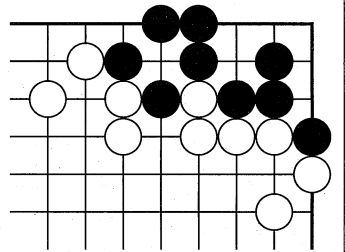
「おいA君、今度来た部長、どう思う」

サラリーマン三年目のAは、ある飲み会の帰りに立ち寄ったスタンドバーで、同僚のBから質問された。二人は、同じ大学を出て、同じ会社に就職し、仕事の業績も同じ程度のまったくのライバルであった。

「困甚将棋のような勝負事の結果は、勝つか負けるかのどちらかである。勝ち数をプラス、負け数をマイナスとすると、両者を足せばゼロになる。これをゼロサム・ゲームという。ところで、『人生は勝負だ』という哲学の人を

碁

出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科) 白番でどうなりますか。



(解答は3面にあります)

時々見かける。その人たちは、人生をゼロサム・ゲームと見なし、人生のあらゆる場面で周囲の競争相手に勝とうとする。
しかし、いつも有利な戦いとは限らない。そこで、絶対に勝つために、あらゆる手段で相手の足を引っ張り張ろうとする。卑劣な行為で失った友情は、生涯、取り返すことはできない。

人生はゼロサム・ゲームではない。協力によってライバルとともに勝つ可能性がある。人生をゼロサム・ゲームだと思い違いをした損失は少なくない。

保険医年金加入のお礼とお知らせ

保険医年金の募集が10月をもって終了しました。おかげさまで月払いが、145人・946口、一時払いが81人・276口の加入がありました。

ご加入いただきました会員の皆様には心よりお礼申し上げますとともに、ご多忙のところ訪問させていただき、何かとご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

掛け金の口座引き去りと振り込みにつきましては、次の通りです。

- 月払い……第1回口座引き去りは、12月28日(月)です。(以降、毎月26日。当該日が銀行休日の場合は翌日営業日)
- 一時払い……12月15日(火)までに保険医協会の指定口座にお振り込みください。(12月初旬までに、お申し込み口数(1口100万円)による請求書を送付させていただきます)

なお、加入者証は、2月中に郵送または募集担当員がお届けいたします。

協会の共済制度をご利用下さい

- 休業保障制度 毎年4~5月受付 月24,000円の掛金で月1,440,000円の保障。
- グループ生命保険 毎年5~8月受付 格安の掛金で、最高4,000万円まで加入できます。
- 保険医年金制度 毎年9~10月受付 高配当を維持、貯金型年金の決定版。
- 第2休業保障制度(所得補償保険) 毎月受付 休業保障制度の上乗せとして。
- マルマル火災保険 毎日受付 掛金がマルマル戻り、配当も付きます。
- 年金担保融資制度 毎日受付 保険医年金加入者の特典、最高1,000万円まで。